

EVENT INFORMATION

学校見学会

第3回 7月26日(日) 9:15～

第4回 8月1日(土) 9:15～

第5回 8月2日(日) 9:15～

学校概要説明、体験授業、個別相談、在校生による学校紹介、施設見学などを予定

入試説明会

第1回 9月19日(土) 14:30～

第2回 10月3日(土) 14:30～

第3回 10月25日(日) 9:00～

第4回 12月12日(土) 14:30～

入試概要説明、入試問題解説、学校概要説明、個別相談、施設見学などを予定

夏休み講座

7月26日(日)13:30～ 8月1日(土)13:30～ 8月2日(日)13:30～

※予定が変更になる場合があります。詳細はHPをご覧ください。

プレテスト

10月25日(日)8:45～

2027年度入試日程

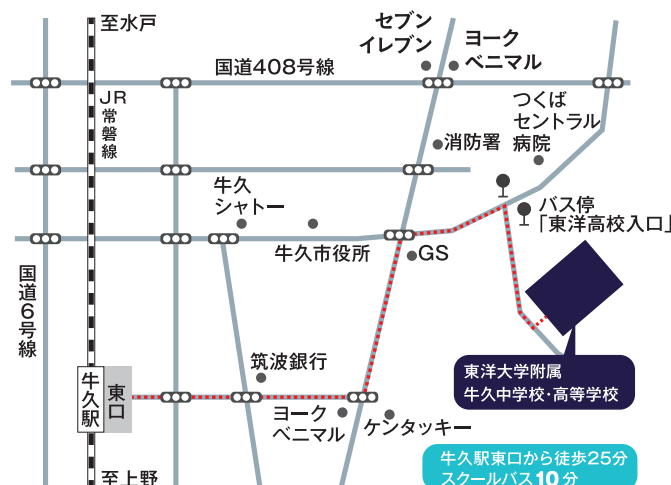
[専願入試]
12月5日(土)

[適性検査型入試]
11月22日(日) 午前

[英語特別入試]
11月22日(日) 午後

[一般入試]

第1回 2027年 1月5日(火) 第2回 2027年 1月23日(土) 第3回 2027年 2月11日(木・祝)



学校見学会・入試説明会
開催日は、
JR常磐線
「牛久駅」東口から
無料送迎バスを運行します。

〔常磐線を利用して通学する場合〕

JR常磐線牛久駅から学校までは、
スクールバス「牛久駅ルート」を運行しています。

〔近隣エリアから通学する場合〕

牛久市の近隣エリアをカバーするスクールバスは9ルートあります。
「守谷」「千葉ニュータウン」「稲敷」「つくば中央」「つくば東」
「TX」「阿見」「つくばみらい」「竜ヶ崎」

※停留所・運行時間については、本校ホームページをご確認ください。

※本冊子の教育内容・行事等は、過年度に実施したものを掲載しています。入学後に変更となる場合があります。



東洋大学附属牛久中学校

ホームページ



〒300-1211 茨城県牛久市柏田町 1360-2

TEL: 029-872-0350

E-mail: kouhou@toyo-ushiku.ed.jp

<https://www.toyo.ac.jp/ushiku/>

Instagram



X(旧Twitter)



JUNIOR HIGH SCHOOL DIGEST 2027

VOICE BOOK



TOYO UNIVERSITY USHIKU

東洋大学附属牛久中学校



REAL
STEP UP
PROGRAM

「学びの主体性」を育てる

本校のオリジナル教科「グローバル探究」は、高2の海外研修で現地の大学生に研究成果を発表することを目標に、探究活動を体系的に学んでいきます。中1では「教養」、中2では「哲学Ⅰ」・「国際理解Ⅰ」、中3では「哲学Ⅱ」・「国際理解Ⅱ」・「課題発見」を学習します。授業の中で、ディベートやプレゼンテーション、ポスター作成など幅広い実践や学校行事を通して、プレゼンテーションスキルやICTスキルといった将来につながる力を培います。例えば、中1での学習発表会、中2での英語落語、中3でのオーストラリア語学研修です。中1の学習発表会はグループごとにテーマを設定し、調査・探究を行って発表、中2は一人一演目の英語落語を創造祭(文化祭)で発表、中3のオーストラリア語学研修では、オーストラリア文化と日本文化を比較して、日本文化

— 飛躍的に経験値を高めます —

を英語で発表しています。また、「課題発見」で生徒がそれぞれ行ってきた探究成果を発信する場として卒業発表会を行います。学会さながらの雰囲気です。ポスターセッション・スライド発表をします。その経験をもとに高1・高2での「課題研究」を行うことで、海外での成果発表につなげます。一人ひとりが主役になれる場があることで、生徒は自ら考え課題を解決する能力を身に付けることができ、段階に応じたイベントが学習成果を大いに発揮することにつながります。

このように、本校は一人ひとりが主体的で深い学びを行える環境が整っています。特に、英語を使う場面を多く経験することで、実践的な英語を身に付けることが期待できます。



東洋大学附属牛久
中学校・高等学校
校長
金澤 利明

未来は大きく開かれています！
**東洋大学附属牛久
中学校・高等学校**

附属推薦制度

東洋大学
への進学

サボめ細やかな
サポート制度

国立大学や
難関私立大学
への
進学も躍進！

INTEGRATED EDUCATION 東洋大牛久の一貫教育

中学校

STEP 1

ホームルーム合宿

山梨県河口湖
[2泊3日／宿舎]

入学してすぐの4月に中高合同で行う2泊3日の宿泊型研修。中学生としての生活習慣と学習習慣を身につけながら、豊富なアクティビティを通して1年生全員との交流を深めていきます。

ALL ENGLISH DAYS

外国人講師を招いて1日英語だけで過ごします。2日間にわたりさまざまなアクティビティを体験します。



学習発表会

興味ある
テーマを掘り下げる

学年末には、総合学習および探究活動の集大成として学習発表会を実施します。Chromebookを使用して資料を作り、各グループで発表します。論理的思考力、プレゼンテーション力の向上をめざします。

STEP 2

海外語学研修

フィリピン
[6泊7日／宿舎]

現地語学学校にて、集中的に英語を学ぶことで英語4技能を効果的に向上させます。現地学生との交流もあり、異文化に触れる絶好の機会にもなります。

STEP 3

海外語学研修

オーストラリア
[12泊13日／ホームステイ]

2週間のホームステイによる海外語学研修。英語の授業を受けながら、1家庭に1～2人でホームステイします。日本の文化や習慣を現地の学生にプレゼンテーションして、英語力や自国文化理解力の習得度を確認します。



高等学校

STEP 4

伝統文化研修

京都
[3泊4日／宿舎]

前年の海外研修での経験をもとに、日本の伝統文化をいっそう深く知ることを目的として実施する国内研修です。外国人観光客に英語でインタビューをするプログラムも行っています。

STEP 5

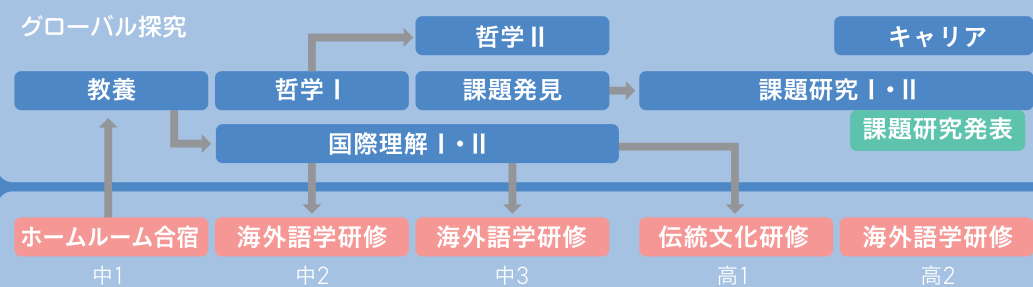
海外語学研修

シンガポール
[4泊6日／寮]

グローバル教育の成果を生かし、シンガポールなど英語圏の国を訪れ現地の学生との文化交流を実施。シンガポールの大学生と課題研究について話し合ったり、史跡を巡るプログラムを実施しています。

イギリス オックスフォード
[16日間／ホームステイ]
カナダ バンクーバー
[17日間／ホームステイ]
オーストラリア オレンジ市
[14日間／ホームステイ]
ニュージーランド
[42日間／ホームステイ] ほか

希望者のみ



中高一貫コース
過去3年間の
合格実績

国公立大学

13名

難関私立大学

44名

海外大学

1名

主要私立大学

68名

3名

ほか

国公立大学

東京大学 1名
筑波大学 3名
横浜国立大学 2名
茨城大学 2名
茨城県立医療大学 2名
青森県立保健大学 1名
釧路公立大学 2名

海外大学

開南大学 (台湾) 1名
防衛大学校 2名
海上保安大学校 1名

大学校

難関私立大学

早稲田大学 3名
上智大学 3名
東京理科大学 1名
学習院大学 3名
明治大学 8名
青山学院大学 3名
立教大学 6名
中央大学 9名
法政大学 8名

主要大学

東洋大学 17名
日本大学 16名
専修大学 3名
駒澤大学 1名
成蹊大学 1名
成城大学 1名
明治学院大学 1名
獨協大学 6名
國學院大学 6名
東京農業大学 2名
工学院大学 2名
芝浦工業大学 1名
東京電機大学 6名
東京都市大学 1名
津田塾大学 1名
東京女子大学 1名
日本女子大学 2名

東洋大牛久で中高6年間を過ごす子どもたちは、何を学び、どんなふうに成長して、その先の進路に向かっていくのでしょうか。そして保護者のみなさまは、その姿をどのように見守っていらっしゃるのでしょうか。

中高一貫コースの2期生、3期生、4期生の保護者の方にお子さまの在学当時を振り返っていただき、東洋大牛久の中高一貫教育を選んだ理由や、保護者さまから見たお子さまの成長の様子、多感な中高時代に寄り添った親としての率直な心情や先生方への思いなどを語っていただきました。



見守ってくれる存在がいたから、前向きに頑張れました。

足立 侑士さん
中高一貫コース2期生
現在は北海道大学大学院
理学研究院化学部門
に在学

ゆとりある思春期を送ってほしいと考えて東洋大牛久の中高一貫教育を選び、好きなこと、やりたいことに打ち込む6年間を過ごさせていただきました。まず大きかったのが弓道部に入ったことです。弓道は大学でも続けるほど本人の大切な軸となり、人間的にも成長できたと思います。ただ、興味がなかったことにはほぼ手を付けられない性格なので、中学時代はかなりの問題児でした。好きな科目以外は勉強しないし、提出物は遅れるし、参観日には授業中も弓を引く型の練習をしていてびっくりしました(笑)。でもその後、「日本語ディベート大会」に出場するようになり、他校の生徒さんたちと論理的に議論したり、考えを深めたりするうちに、学びに対する姿勢が変わってきました。さらに「課題研究」に取り組んで、好きな化学を追究したいという自覚が高まり、進路については親はまったく関わらず、担任の先生と相談しながら自分で決めていきました。先生が本人の特性をよく理解し、得意なところで勝負できる進路を勧めてくださってとてもありがたかったです。大学受験も、予備校に行かず、先生方に課題を出していただきながら乗り越えました。中高時代はいろいろな人と出会い、いろいろな経験をして、そこから自分の可能性を探っていく大切な時期だと感じます。ぜひ東洋大牛久でお子様の可能性を大きく伸ばす6年間を送ってください！

いろいろな人と出会い
いろいろな経験をして
可能性を伸ばしました



子どもの学びと成長、
その変化のそばで。

01

足立 美子さん
足立 侑士さんのお母様



たくさん実習でもういながら、成長できたと思います。

照井 愛梨さん
中高一貫コース3期生
現在は津田塾大学
総合政策学部
に在学

積極的に
挑戦する原点はすべて
中高時代にあったと
実感しています

02

照井 明加さん
照井 愛梨さんのお母様

大学進学だけにこだわらず、様々な選択肢の中から本当にやりたいことを見つけて、背中を押してもらえそうな学校で学んでほしいと思い、東洋大牛久の中高一貫教育を選びました。ただ入学前はまったく英語に触れていなかったのが、最初のうちは英語のできるお友だちに劣等感があったようです。転機になったのが中2の「フィリピン語学研修」で、現地の人と実際に英語で会話する楽しさを体感し、英語を学ぶ意欲が一気に高まりました。さらに中高を通じて英語ディベートを経験し、高3では留学生と高校生が津波対策について話し合う「津波サミット」に学校代表として参加するなど、どんどん活動の幅が広がっていきました。進路については、三者面談で「お金持ちになりたい」と豪語する娘に驚かされましたが(笑)、先生は「お金持ちになるとはどういうことか」「どんなコミュニティに入る必要があるか」と的確に助言して導いてくださいました。大学進学後も、弁論部を立ち上げたり、国際交流基金の「日本語パートナーズ」としてフィリピンを訪れたりと積極的に挑戦していますが、その原点はすべて中高時代にあったと実感しています。6年間、あたたかく見守ってくださった先生方や、濃密な成長の時間をともに過ごしたお友だちとの絆は深く、さらには親同士のつながりが続いているのもとても幸せなことだと思っています。



いつも話を聞いてくれる
家族の存在が大きいです。

左|板垣 直希さん
中高一貫コース7期生
東洋大牛久高校3年生

右|板垣 凛久さん
中高一貫コース4期生
現在は筑波大学
生命環境学群
生物資源学類に在学

先生方の愛情と
的確なサポートで
大きく成長しました

03

板垣 文雄さん・由里子さん
板垣 凛久さん・直希さん
のご両親



長男の個性には少人数の中高一貫校が合うと考えて、受験を決める前に学校を見学し、学問の根幹をていねいに教える授業に感銘を受けて東洋大牛久の中高一貫コースを選びました。入学当初は心配もしましたが、先生方が一人ひとりにこまめに声をかけてくださって、何かあれば家庭に連絡がありましたし、毎週のようにメルマガで学校生活の様子を伝えてくださるのも楽しくて、6年間安心して通わせることができました。特に本人の成長を感じたのが海外研修です。英語力はもちろん、自立して生活する姿勢が身につく、人とのコミュニケーションの取り方を学んできたのも頼もしく感じました。また高校の課題研究ではキノコを用いたバイオエタノールの生成に取り組み、興味あることを深める体験がそのまま進路につながっています。中1から人前で発表する経験を重ねてプレゼンテーションのスキルを磨いたこともあり、「茨城県英語プレゼンテーションフォーラム」など外部の大会で堂々と発表できるようになったことにも驚きました。次男は、充実した学校生活を送る兄の姿を見て、自分から希望して入学し、こちらはディベートに興味を持って取り組んでいます。先生方がどんなときもふれずに生徒全員に愛情を注いでくださることと、様々な機会を用意してそれぞれの興味ある方向に進めるようにサポートしてくださることに心から感謝しています。

01

勉強面で最も重視したのは学校の授業です。どの科目もわかりやすく、基礎をしっかりと固めることができました。特に英語は本質を見る独自の授業で、「勉強は楽しいものだ」というマインドを確立できたと感じます。東大は、中2の担任の先生に「歴史に関わる仕事がしたい」と話し、研究環境が整っていると聞いて意識するようになりました。今後はより広く、今まで知らなかった世界と交流し、新たな自分も発見したいと思っています。



金井 大空さん
中高一貫コース2025年度卒業
6期生
東京大学 文科三類

本質を見る授業で
勉強は楽しいという
マインドを
確立できました

02

6年間打ち込んだ相撲部の練習は厳しく、勉強との両立もたいへんでしたが、顧問の先生の「相撲だけでなく、勉強もしっかりやってこそ一流だ」という言葉を信条に頑張りました。進路を決めたのは、膝のケガでリハビリを受けたことで、自分も理学療法士として好きなスポーツに関わりながら中高生のケガを少しでも減らすサポートがしたいと考えたから。相撲で培った忍耐力と自分で考えて取り組む力を活かし、目標達成をめざします。



磯田 天音さん
中高一貫コース2025年度卒業
6期生
茨城県立医療大学
保健医療学部 理学療法学科

相撲で培った
忍耐力や思考力を
活かして
目標に向かいます

東洋大牛久から、それぞれの未来へ。

03

中高で楽しみながら英語力をつけ、また探究活動などで多くの人から話を聴く経験を重ねたことが、勇気をもって一歩踏み出せる土壌になったと感じます。高2のころ、サンフランシスコの高校に10日間通い、現地の学校や企業のメンタルヘルス支援を見たことから、「学校教育の環境と生徒のメンタルヘルス」をテーマに「課題研究」に取り組み、それが進路にもつながりました。今後は脳科学の側面から教育学を研究したいと考えています。



中川 さくらさん
中高一貫コース2025年度卒業
6期生
筑波大学 教育学類

中高の経験が、
勇気をもって
一歩踏み出せる
土壌になったと
感じます

04

中高時代は常に自分と向き合い続けた6年間でした。英語をはじめ勉強に一生懸命取り組み、「課題研究」で好きな文学を追究して思考を深めたほか、ディベートやサッカー部のマネージャーにも挑戦。「トビタテ！留学JAPAN」の経験も大きく、大学でも学生団体の代表、新規事業を行うインターンシップと活動の幅を広げられました。これからも「やらない後悔よりやる後悔」を座右の銘に、自分にワクワクできる人生を送りたいと思います。



鈴木 梨央さん
中高一貫コース2022年度卒業
3期生
お茶の水女子大学
文教育学部 言語文化学科

これからも
自分にワクワクできる
人生を
送りたいと思います

楽しく学んだ英語や
受験前の小論文対策。
先生と仲間の存在が
支えになりました

05

東洋大牛久の英語は、授業だけでなく、海外研修や英語ディベートなど様々な活動で楽しみながら力をつけることができました。理系でしたが、心理学に興味があり、進路は医療系の中でも精神的なサポート面の大きい作業療法士を選択。大学受験では先生方に小論文対策で支えていただき、友だちと励まして乗り越えました。大学時代に塾講師を経験して適性を考え、今は国家資格を取得したうえで学生を指導する仕事に就いています。



折本 若歌菜さん
中高一貫コース2021年度卒業
2期生
茨城県立医療大学
保健医療学部 作業療法学科卒業
茨城県立医療大学 保健医療学部
作業療法学科 助手

スケールの大きい
経験を積んだことが
今も挑戦の土台に
なっています

西 幸紀さん
中高一貫コース2021年度卒業
2期生
電気通信大学大学院
情報理工学研究所
基盤理工学専攻

06

高校の物理の授業で専門的な問題を解く楽しさを知り、物理チャレンジに出場したり、電気工事士の資格を取得したりして、大学の研究分野は電子工学を選択。大学院に進んで研究を続け、今年は国際インターンシップにも参加します。中高で課題研究、海外研修、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションと、幅広く、スケールの大きい経験を積んだことが、今も様々な場面で自信をもって挑戦できる土台になっていると感じます。



01

中学2年 | 火口 未来さん

来場された方が
楽しめるように
みんなで
工夫を凝らします



創造祭 教科プレゼンテーション& ワークショップ

中1

中1では4～5人のグループごとに教科別の探究活動に取り組み、創造祭で研究発表を行います。国語は演劇、理科は参加型の実験、数学は三平方の定理をパフォーマンスで表現するなど、生徒主体で内容を考え、来場された方が楽しめるように工夫します。私は国語を選び、小6のとき島留学をしていた経験を活かして、奄美の与路島の方言で話すラプンツェルの演劇に挑戦しました。準備も本番も楽しく、チームワークや表現力も育てて有意義な活動になったと思います。



創造祭 英語落語

中2

中2全員が創造祭で発表する英語落語は東洋大牛久らならではの取り組みです。一人ずつ演目を選び、練習を重ねて、先生にA評価をもらえるまで何度もやり直して本番に臨みます。僕は「まんじゅうこわい」という演目を選び、英語の発音だけでなく、人物の気持ちまで表現できるように頑張りました。本番は緊張しましたが、大成功で拍手をもらえたのはとてもうれしかったです。その後、フィリピン語学研修でも現地の学生の前で披露し、笑いがとれたことも自信になりました。

02

中学3年 | 秋山 恒さん

英語の発音
だけでなく
人物の気持ちまで
表現できるように
頑張りました



創造祭 English skit

中3

中3は創造祭で英語劇English skitを発表します。グループごとに題目を選んでストーリーや台本を創作し、小道具、衣装も工夫します。去年は日本昔話から選ぶことになっていて、僕たちは「さるかに合戦」を演じました。本番まで何度も



03

高校1年 | 加藤 重莉さん

仲間と役割分担して
一つのものを
完成させた経験を
今後につなげます

先生に見てもらい、細かく修正点を指摘されましたが、だんだんクオリティーが上がるのを実感できて楽しかったです。英語力はもちろん演技力や表現力も磨き、何より仲間と役割分担して一つのものを完成させた経験は今後につながると感じています。



04

中学2年 | 中島 日雅さん

芸術鑑賞 笠間陶芸

※笠間陶芸と東京国立博物館は隔年で実施

中1
中2

昨年の秋、茨城県笠間市を訪れて、日本の伝統工芸品の一つである笠間焼の陶芸体験に取り組みました。事前に笠間焼の歴史を調べたり、何を作るか考えたりしてレポートを作成し、当日に臨みます。僕は大好きな唐揚げをのせる大皿に決めました。細かくていねいに模様を入れるなど工夫を凝らして自分なりに自信作を完成。3学期に焼き上がりが送られてきたら、想像以上にいい作品になっていて興奮しました。機会があれば、違う種類の焼き物にも挑戦してみたいです。



伝統工芸の
笠間焼に挑戦！
想像以上に
いい作品が
できました



芸術鑑賞 東京国立博物館

※笠間陶芸と東京国立博物館は隔年で実施

中1
中2

中1の2学期、東京国立博物館に芸術鑑賞に行きました。事前に博物館の公式動画を見たうえで、グループごとにフロアマップを見ながらどのように回るか大まかな順路を決めておきます。当日は現地集合で、私たちは日本の伝統文化を中心に鑑賞しました。友だちと感想を話しながら回るのはとても楽しかったです。また外国人の来場者が多く、展示品の紹介文は日本語のほかに英語や中国語の表記もあって、様々な人の状況に対応する博物館の取り組みに興味がありました。



05

中学3年 | 大貫 煌月さん

様々な来場者の
状況に対応する
博物館の取り組みに
興味がありました



伝統芸能が
身近に
感じられるように
なりました



芸術鑑賞 狂言

中3

06

高校1年 | 明山 楓さん

もともと日本の伝統芸能に興味があり、音楽の授業でも歌舞伎や能、狂言について学んでいましたが、芸術鑑賞で実際に能楽堂を訪れ、わかりやすく説明していただいたあとに本物の狂言を鑑賞したら、予想以上に内容が理解できて、思わずくすりと笑ってしまうなど、おもしろさを体感することができました。同じ舞台を見ていた室町時代の人々が身近に感じられ、日本史の知識もよりリアルにとらえられるようになったと思います。今後は能や歌舞伎も鑑賞してみたいです。



すべてが青春になる。

ワクワクが見つかれば、

CLUB

01

入学するまで個人競技しかやってこなかったのですが、中学校では団体競技に挑戦したいと思い、ラグビー部を選びました。先輩たちは体も大きく、最初は接するのが怖いと感じましたが、一緒に練習するうちに信頼関係を築くことができました。難しいパスで失敗しても、先輩たちが励ましてくれるので頑張れます。僕は校外で水泳も続けていますが、勉強も部活動も時間配分して、それぞれに集中することで両立しています。ラグビーを通じて身体的にも人間的にも成長できたのを実感しています！

01

中学3年生
平石 創一朗さん
ラグビー部

ラグビーを通じて、身体的にも人間的にも成長できたのを実感しています



一つずつ成し遂げたことが自信になり
いろいろなことに挑戦できるようになりました

男女問わず
チャレンジしています！



02

中学3年生
前田 拓斗さん
和楽部



科学が好きな仲間が集まって
幅広くやりたい実験に取り組んでいます

03

科学部では、部員それぞれがやりたい実験に取り組んでいます。やりたいことが見つからない人も、先輩がアドバイスしてくれたり、一緒にやらせてもらったりして、興味を上げることができます。私も中1のとき、先輩の粉塵爆発の実験と一緒にやらせてもらいました。先生は危険がなければ、高度な実験でもできる限り生徒の希望を叶えてくださるし、みんな科学が好きなので和気あいあいと活動しています。ときには科学制作展の見学や砂金採集など、校外に研修に行くこともあってとても楽しいです。

03

中学3年生
鬼澤 優那さん
科学部

イベントに参加することも
楽しい経験です！



目標はみんなで楽しく活動すること
それこそが上達につながると思っています



04

中学3年生
大塚 希美さん
テニス部

みんなで楽しく
活動しています！



やりたい!の数だけ、新しい自分になれる。

02

以前、津軽三味線を聴いて「カッコいいな」とあこがれていたこともあって和楽部に入りました。実際に三味線を演奏してみると予想以上に難しく、くじけそうになりましたが、気に入った一曲が弾けるまでは頑張ろうと思っていたら、また次の目標となる曲が出てくるということを知り返して、今ではずっと続けたいという気持ちになっています。なかでも合奏でみんなの音が合ったときの達成感は格別です。一つずつ成し遂げたことが自信になり、和楽以外でもいろいろなことに挑戦できるようになりました。

04

部活体験のとき、先輩が優しく声をかけてくれたのがうれしくて、テニス部に入りました。初心者からのスタートで、最初はコツがつかめず、悩むこともありましたが、経験者の友だちや先輩がサポートしてくれて、だんだんできるようになりました。活動は生徒主体で、みんなで楽しくやることを目標にしています。楽しむことこそが上達につながると思っています。今後は技術を磨き、団体戦などで一つでも多く勝てる力をつけるとともに、後輩も引っ張っていけるように頑張りたいと思います。



チームワークも最高！